

平成30年7月12日

建設常任委員会 先進地行政視察報告書

建設常任委員会 赤石 継美

1. 視察年月日 平成30年7月2日（月）～7月4日（水）

2. 視察先と視察事項

※ 岡山県 津山市

・視察先 7月3日（火）午前9時～午前10時30分

岡山県 津山市 人口101,367人（3月末現在）

・視察事項 『景観計画及び歴史的風致維持向上計画』について

※ 岡山県 岡山市

・視察先 7月3日（火）午後2時30分～午後4時

岡山県 岡山市 人口720,937人（3月末現在）

・視察事項 『みちづくり計画』について

3. 内容及び成果

※岡山県津山市の『景観計画及び歴史的風致維持向上計画』について

津山市は、岡山県北の中心都市であり、津山城の城郭を中心に形成された歴史的な風情のある町並みや市全域に点在する遺跡や社寺などの歴史資源を有し、平成21年7月に岡山県で初めて「歴史的風致維持向上計画」が認定された。さらには、豊かな自然景観、美しい農村景観を活かし、古いものと新しいものが調和する良好な景観を創出し、住民が誇りと郷土愛を持ち、これを次世代へ継承することを目的として、平成28年4月に景観計

画が施行された。

◇主な視察項目

- ①計画制定の経緯 ②計画の概要と取り組み ③今後の課題 等

※岡山県岡山市の『みちづくり計画』について

岡山市は、合併による平成21年4月の政令指定都市への移行に伴い、同年度に期間10ヶ年の「岡山市みちづくり計画」を策定した。基本方針に、広域交流強化、円滑移動支援、公共交通連携、安全・安心、人にやさしい、環境にやさしい、暮らしを支える「7つの柱」を掲げ、5ヶ年経過時には中間達成度評価を行い、平成27年3月に計画を一部改訂した。今年度が最終年度にあたり、本計画の成果や課題を調査し、当市のみちづくり（道路行政）に活かしたい。

◇主な視察項目

- ①計画の概要と取り組み ②調査や評価の手法について ③成果と今後の展開について 等

以上の視察の結果として、津山市については、アートによるまちづくりを掲げる十和田市にも、周辺施設との調和を図る必要性が出てくる可能性もあることから、景観計画を策定する場合の参考となりました。

また、岡山市については、平成21年4月に政令指定都市へ移行したことにより、国直轄事業が受けられるが3割が岡山市負担であることや土木管理費・道路橋梁費などの義務的経費が増え、思うように道路インフラ整備が進まないことが課題であるとのことでした。「みちづくり」について、今後さらなる検証や研究が必要と考えたところです。

岡山県津山市

平成30年 7月 3・4日

津山市景観計画について

1.計画の目的は、地域の豊かな自然景観、美しい農村景観、城下町等の歴史資源を活かし、古いものと新しいものが調和する良好な景観を創出し、市民が誇りと愛着を持てる都市と創造と次世代への継承に寄与することを目的としている。

また、この計画は「津山市総合計画」や「津山市都市計画マスタープラン」並びに各種関連計画に示す方針を実現するための計画の一つとして位置付けており、各種行政計画とそうごに連携・整合を図り、津山市らしい魅力あふれる景観の形成を図る。

策定にあたっては、景観法に定める事項と「岡山県景観計画」「津山市景観整備基本計画」でのこれまでの取り組みを基本的に引き継いだ内容となっている。

2.良好な景観形成の基本方針

(1)豊かな自然をまもり、育てる

中国山地の山々や吉井川などの河川、郊外に広がる田園風景などの豊かな自然は、津山市の景観基盤であり、これらを守り、育てることで自然環境と一体となる景観を形成する。

(2)地域の歴史を守り、伝える

津山城を中心とした城下町の遺跡や町並み、市全域に点在する遺跡や社寺などの歴史資産を守り、次の世代に伝えていくことで郷土への誇りと愛着を育てる。

(3)にぎわいのある、美しいまちをつくります

建築物や屋外広告物などをコントロールし、風格や統一感のある街並みとにぎわいのある美しい景観を創出する。

(4)地域主体の景観づくりを目指す

地域固有の景観資源との調和を図り、地域が主役のまちづくりを行うことで、真に市民が愛着と誇りを持てる景観の形成を目指す。

3.景観形成重点地区・景観重要公共施設

4.届出を要する行為(一般地区・景観形成重点地区)

建築物、工作物、その他、届出行為の適用除外

5.景観形成基準(一般地区)

建築物、工作物

6.景観形成基準(景観形成重点地区)

建築物、色彩誘導基準・基調色(景観形成重点地区)

津山城を中心にした歴史と文化のある、とても綺麗な感じの津山市でした、幼少期にタイムスリップしたような感じがしました。

十和田市の歴史は津山市と違いまだ浅いと思いますが、どちらかと言えば開拓地なのかなと思います。

岡山県岡山市

平成30年7月3日

岡山市みちづくり計画について

岡山市の道路の現状と課題

・岡山市は中四国の交通結節点であり、交通の要衝である。

岡山市と周辺都市を結ぶ道路網として、広域高速道路網では山陽自動車道、中国横断自動車道岡山米子線があり、幹線道路網としては国道2号、30号、180号などがある。

また、中四国のクロスポイントに位置し、西日本の広域交通の結節点となっている。

・ポテンシャルを活かすには、渋滞対策を始めとした人の環境にやさしい交通ネットワークの構築が必要である。

県内の主要渋滞箇所が市内に集中し、時間的・経済的損失だけでなく、都心と地域拠点との連携にも悪影響を及ぼし、交通利便性を損なっている。また、交通事故件数も全国平均を上回っており、生活道路においては、車優先から人優先のみちづくりへの転換が急がれる。

・道路インフラ、特に橋梁の耐震化、長寿命化が喫緊の課題である。

更に、岡山市は広大な干拓地を抱えていることから小規模なものを含め約9,700の橋を管理しており、今後20年で供用後50年迎える橋梁は6割に達し、これらの耐震化、特に長寿命化は重要な課題である。

岡山連携中枢都市圏交流社会実験に向けた協議状況

圏域外の人やモノの動き(経済活動)をスムーズに、さらには活性化することで、更なる岡山連携中枢都市圏の飛躍を目指す。

主な取組内容 中国横断自動車道岡山米子線による交流促進

高速道路を活かし、人とモノの交流促進 「岡山米子線沿線交流促進社会実験」

高速道路を活かし、既存の道路ネットワークの課題解決「吉備スマートIC利用者を対象とした料金割引社会実験」

十和田市と比べて交通量が多いと思いましたが、大きい分予算も大きいし、道路にも維持管理費も掛かるし、橋梁数の多さにもびっくりしました。また、交通の要衝でもある為か交流促進・渋滞緩和の為に料金割引など社会実験をしているそうです。

周遊エリア内乗り放題(土日祝・日帰り限定)はほぼ半額だそうです。

建設常任委員会視察報告書

豊川泰市

期 間 平成30年7月2日～7月4日（2泊3日）

視 察 先 ①岡山県津山市（人口101,367人）

②岡山県岡山市（人口720,937人）

視察事項 ①景観計画及び歴史的風致維持向上計画について

②みちづくり計画について

内容及び成果

①景観計画及び歴史的風致維持向上計画について

- ・津山市は西暦700年代の美作国誕生から近世にかけて常に美作地区の政治、経済、文化の中心を担ってきた地域で、市内のあちこちに他都市にはみられない歴史的な街並みや風致がみられ、大きな特徴になっている。
国、県及び市指定の文化財や遺産、津山城跡など、これらを計画的に整備あるいは修繕するなどしており、今後これらの活用も考えている。
- ・今後の課題としては、高齢化や中心市街地の空洞化が進む中で十分に維持管理されないままに放置されている歴史的建造物が数多く残っている。このため歴史的町並み景観の維持向上を図るため、文化財指定の推進や町並み保全に対する補助拡充を検討する。また、これら歴史的建造物の利活用について、景観をよくするだけでなく観光客や市民がまち歩きを楽しみ回遊できるよう魅力づくりを進め、にぎわいの創出をはかることが求められているとのことであった。
- ・津山市における景観計画は1,300年という歴史的な建造物や街並みを活かしながら、今後さらに整備を加えながら観光課並びに市民のにぎわいの創出をはかるとの方向であったが、当市における景観はどうあるべきかをこれらを参考にしながら整備する必要がある。

当市は不毛の原野という三本木原に奥入瀬川からの上水により開拓された街で、しかも始めから都市計画を考えての基盤の目状の街並みである。今日的には市街地周辺の空店舗、空地が目立っているが、市においてはアートの街並みを検討しているかに見えるが、具体化していない。都市景観街並みの形成、しかもにぎわいや観光もかねるような街づくりはいろいろな知恵を集める必要があると考える。

②みちづくり計画について

・ご承知のとおり、岡山県の県都で人口 72 万人で政令指定都市でもある。岡山市は、目指す都市像として「水と緑が魅せる心豊かな庭園都市」「中四国をつなぐ総合福祉の拠点都市」を標榜しており、その方向として、

- 1 人と環境にやさしい総合交通システム
- 2 コンパクト市街地を田園の共生
- 3 生活交流都心創生
- 4 水と緑の都市
- 5 安全な都市基盤

を掲げてみちづくり行政を進めていた。そして、これらの方向に沿って総括しながらみちづくりを進めていた。

・岡山市は城下町ということもあって、年間 3,172 億円の内、土木費で 13%の 413 億円をかけ、舗装や計画を実行しているが、その中でも都市計画費にかける割合は、その土木費の 44.5%に当たる 183 億円余りをかけ、道路行政には力を入れていることを伺った。

当市においても。折角の都市計画道路がありながらも、思うように進んでいない状況は考えなければならないことであると感じた。

委員会行政視察報告書

畑山 親弘

委員会名 <u>建設常任委員会</u>				
活 動 委 員 名				
赤石 純 美 新川 貴 司		斎藤 重 美 畑山 親 弘		豊川 辰 幸
経 費 区 分				合計金額
1 研修旅費	2 自動車借上料	3 議長交際費	一人当りの費用	
594,978		5,954	120,186.4	600,932
期 間 (年月日)	80年7月2日 ~ 80年7月4日(泊3日)			
視察事項	1) 景観計画及び歴史的風情維持向上計画について 2) 岡山市 25ヶ所の計画について			
視察先	1) 岡山県 津山市 2) 岡山県 岡山市			
内容及び成果 < 津山市について >				
<p>○ 都市は福利の増進による発展し、今年と60年目となる新街は基礎の堅固に区画整理整然とした街であり、近代都市計画の中心となつてゐる。この中心部における景観計画は、その中心部の歴史的な古い建群部も保存してあり、以後の街づくりにはこれらを参考にすべき点も視察した。</p> <p>津山市は、かつては「美作地方」として政治、経済、文化の中心的存在であり、岡山市国府と共にその後の予備的発展を遂げてゐる。特に、都市の歴史景観を可く保ち魅力あるまちづくりを遂げたい。</p>				
<p>○ 従つて津山市は歴史的風情のある町で、一級河川の吾川に併行して伝統的建造物、街並みが形成されている。このことから津山市景観計画は「美しい未来へ津山に向けて「新街を創る。ふるさと景観をテーマに、伝統的建造物群保存地区として重点的に取り組んでいくこと」</p>				

※視察報告書の充実を図るため、視察時の質疑応答事項等も記載してください。視察者個々の所感も別途作成し添付してください。

○ 上記の計画は 平成20年5月1日施行の「都市における歴史的風致の維持及び向上に関する法律（歴史的風致法）」に基づき、都市景観法の中、歴史と活気のある街づくりを行政機関が高度に「津山市歴史的風致維持向上計画」策定、全国で11番目に認定された。今般具体的に述べている都市である。

○ 詳細は 別紙資料と添付する

○ 高市の場合、都市計画、まちづくり、景観対策として新街通りを中心とした美しい通りや街並みの整備並に掘割（人工河川）沿いの景観形成と先行することの大切かと思える。

< 岡山市について >

○ 岡山市は人口70万人を超え政令指定都市である。豊後国と大宰府の年喜多布衣の策。その後日本武庭園のつくり後樂園の造園工場の集積した都市である。

○ この岡山市では国道、県道、市道の一体的な整備と管理を行うことから主体的な道路行政の取り組みとして「岡山市道づくり計画」を平成21年策定している。

○ この内容は右側と左側、岡谷と砂部、公共交通と連携、人口増加に伴う社会福祉と、その環境に合わせた生活環境を支えるための取り組みの視念にたつ。とりとえを起業寺を合併したのが幹線道路の整備と述べている。

○ 大都市での取り組みは、いかに商業を誘引し、利便性を高める。小都市での道路計画、これは都市から戦略的であり、都市生活の利便性、環境に整備が求められる。

○ 高市では豊後と日林の都市計画、道路と一体的な狭い道路や中継利便性を南境沿いに確保すること、この部分のみならず、この問題と早期に対応は求められる。そのための取り組みと述べている。

委員会行政視察報告書

織川 貴司

委員会名 建設責任委員会				
活動委員名				
赤石 継美		斎藤 真美		
豊川 恭市				
畑山 親弘				
織川 貴司				
経費区分				合計金額
1 研修旅費	2 自動車借上料	3 議長交際費	一人当りの費用	
594,978		5,954	120,186.4	600,932
期 間 (年月日)	730年7月2日 ~ 730年7月4日(入泊3日)			
視察事項	(1)景観計画及び歴史的風致維持向上計画について (2)岡山市みちづくり計画について			
視察先	岡山県岡山市及津山市			
内容及び成果 (1) 岡山市みちづくり計画について 岡山市は岡山市みちづくり計画は岡山市が目指す都市像を実現するため、岡山市みちづくり計画を策定し、基本方針・目標・整備計画を定め、広域交流強化や安全安心、人にやさしい環境にやさしい暮らしを支える。 「7つの柱」のうち、計画は10年とし5年後(平成25年度)に事業の達成度を評価し、必要に応じて計画を見直しを行うとしております。 その7つの柱のうち、人にやさしいみちづくり、特に「バイパス道路など歩行者優先の道路整備と安全安心なみちづくりの緊急輸送道路上の橋梁、及び跨線橋踏道橋の耐震化」であります。 本市の10倍の予算を持っており、おどろいておる次第であります。				

※視察報告書の充実を図るため、視察時の質疑応答事項等も記載してください。視察者個々の所感は別途作成し添付してください。

(2) 津山市景観計画と歴史的風致 維持向上計画について

津山市は岡山県北の中心都市であり、計画の目的は津山市の地域の豊かな自然景観、美しい農村景観、城下町等の歴史資源を活かし、古いものと新しいものが調和する良好な景観を創出し、市民が誇りとして愛着を持つ都市を次世代へ継承することを目的として策定した計画である。

上記良好な景観形成の基本方針として

(1) 豊かな自然をとり育みます。

(2) 地域の歴史を語り伝えます。

(3) にぎわいのある美しいまちをつくれます。

(4) 地域全体の景観づくりを目指します。

これは津山城を中心に古いものと新しいものが調和からくれ歴史と文化を次世代継承して行く事に関心があります。